

小学校第2学年「国語科」

期日 (時数)	単元名(教材名)	指導内容(学習内容)	学習指導要領の内容	対応するちばっ子チャレンジ100	備考(留意点等)
4 月 (15)	ちいさい おおきい	<ul style="list-style-type: none"> 詩を読んで、気づいたことを書く。 音読・表現の仕方を考え、声に出して読む。 	知技(1)ア 知技(1)ク 思判表C(1)エ 思判表C(2)イ		
	つづけて みよう ー日記ー	<ul style="list-style-type: none"> 日記がどのようなものか、日記には何を書けばいいのかわかり、学習の見通しをもつ。 生活を振り返り、日記に書く材料を集める。 日記を書く。 学習を振り返る。 	知技(1)ウ 思判表B(1)ア 思判表B(2)イ		
	声の ものさしを つかおう	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな場面に合わせた声の大きさを話すことを理解し、学習のねらいと流れをつかむ。 「みんなにしらせるとき」「ほけんしつで」「うんどうかいで」の場面について、それぞれ「声のものさし」のどこにあたるか考え、実際に話しながら、「ものさし」の数値と実際の声の大きさを実感的に捉える。 「声のものさし」に合わせて声を出す。 声の大きさやその理由を考え、生活のほかの場面を想定して、「声のものさし」をいつも心の中にもっているよう意識する。 「書くとおなじでも、よむとちがうことば」を読み、アクセントの違う言葉を集め、文を作って比べ合う。 学習を振り返る。 	知技(1)イ 思判表A(1)ア 思判表A(1)イ 思判表A(1)ウ		
	「えいっ」	<ul style="list-style-type: none"> 単元のとびらを読んで学習の見通しをもつ。 たしかめよう くまのとうさんが「えいっ。」と言ったあとに起こることで、くまの子が驚いていることを確認する。 かんがえよう 場面ごとに順番に、くまのとうさんの行動とくまの子の気持ちをノートに整理し、登場人物の様子を想像する。 ふかめよう くまのとうさんが「なるほど。」と言ったのはなぜだと思うか、考える。 広げよう このお話のおもしろいところをノートに書く。 単元の学習を振り返る。 	知技(1)ア 知技(1)ク 思判表A(1)ウ 思判表A(1)エ 思判表C(1)イ 思判表C(1)エ 思判表C(1)オ 思判表C(1)カ 思判表A(2)ア 思判表C(2)イ	「読むこと」(2年)に関する問題 1.お話を読もう	
5 月 (16)	ひろい 公園	<ul style="list-style-type: none"> 教材名とリード文を読み、公園の絵を見ながら質問を聞くという学習の見通しをもつ。 質問を読んで、絵から探す。 学習を振り返る。 	知技(1)ア 知技(2)ア 思判表A(1)ア 思判表A(1)イ 思判表A(1)ウ 思判表A(1)エ	「話すこと・聞くこと」(2年)に関する問題 3.まよいねこをさがしてください!	

	漢字の ひろば ① 画と 書きじゅん	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 ・「土」「日」の字は、それぞれ何画で書くのかを考える。 ・漢字の画や画数の意味を知り、「山」「女」「糸」「右」「目」「馬」の画数と、それぞれの1画めがどこかを考える。 ・これまでに学んだ漢字をもとに、画数についての問題を作る。 ・「書きじゅんのきまり」をもとに、筆順の三つの原則について、考える。 ・三つの原則とは異なる「とくべつな書きじゅん」があることも、理解する。 ・点画の長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って正しく書く。 	知技(1)エ		
	一年生で 学んだ 漢字 ①	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の中の言葉として示されている漢字の読み方を確認し、一年生の時の一年間のできごとを振り返る。 ・教科書の絵と言葉を参考に短文を作り、句読点の打ち方に気をつけて書く。 ・学習したことを振り返る。 	知技(1)エ 思判表B(1)ア 思判表B(1)ウ 思判表B(2)ア	「漢字」に関する問題(2年) 10.かん字バラバラじけん③の1(つくってみようもんだいシート)	11.かん字バラバラじけん③の2(つくってみようかん字シート)
二 じゅん 読み つよ な が り 気 を 見 つ け て よ う	すみれと あり	<ul style="list-style-type: none"> ・単元とびらを読んで学習の見通しをもつ。 ・確かめよう ・書かれていることの大体を写真から確かめる。 ・考えよう ・すみれの様子がどのように変わっていくのか、ありがどんなことをするのか、順序に気をつけて読み、表にまとめる。 ・深めよう ・なぜ、題名が「すみれと あり」になっているのか、考える。 ・広げよう ・この文章を読んで、おもしろいな、不思議だなと思ったことを書く。 ・調べる。 ・学習を振り返る。 	知技(1)カ 知技(2)ア 思判表B(1)ウ 思判表C(1)ア 思判表C(1)ウ 思判表C(1)オ		
	「言葉あそび」を しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつ。 ・「いろは歌」が、平仮名四十七文字を一回ずつ使って作られていることを確かめ、声に出して五七五のリズムのよさを楽しみながら読む。 ・数え歌を知り、遊びながら読んだり歌ったりする。 ・家の人やお年寄りに遊び歌などを教わって集め、遊ぶ。 ・学習を振り返る。 	知技(1)ア 知技(1)イ 知技(1)ク 知技(3)イ		
6 月 (23)	かたかなで 書く 言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、日常化への見通しをもつ。 ・教科書を読んで、片仮名で書く言葉の種類を知り、設問をもとに片仮名で書く言葉を種類ごとに仲間分けをし、片仮名で書く言葉の種類を理解し、他にもあるか考える。 ・教科書の絵から、片仮名で書く言葉を使った文を作る。 ・学習したことを振り返る。 	知技(1)ウ 知技(1)オ	「平仮名・片仮名」に関する問題 7.ことばあそび(かたかなしりとり①) 「平仮名・片仮名」に関する問題 8.ことばあそび(かたかなしりとり②) 「平仮名・片仮名」に関する問題 9.ことばあそび(かたかなしりとり③) 「言語に関する事項」に関する問題 4.のばすおん② 「言語に関する事項」に関する問題 5.のばすおん③	

「言語に関する事項」に関する問題
6.のばすおん④

し三 よ う 本 か で い し ら よ べ う	図書館で 本を さがそう	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で本を探す方法を知り，本を探して読むという学習内容を捉え，学習の見通しをもつ。 ・図書館に行き，本を探す方法を知る。 (1) たくさんの本の中から，目的の本を見つけるための方法について考える。 (2) 自分の学校の図書館の配架の仕方を確かめる。 ・自分が調べたり，読んだりしたいテーマの本を探して，読む。 ・学習を振り返る。 	知技(1)カ 知技(3)エ 思判表 C(1)ウ 思判表 C(1) 思判表 C(2)ウ		
	「生きもののクイズ」を 作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつ。 ・決めよう・集めよう ・クイズにしたい生き物を決め，調べる。 (1) クイズにしたい生き物を決める。 (2) クイズにしたい生き物について，詳しく調べる。 (3) クイズにしたい内容をメモに書く。 ・組み立てよう・書こう 4・5. 「生きもののクイズ」を作る。 ・読み返そう 6. 作ったクイズを読み返す。 ・伝えよう 7. 「生きもののクイズ」を出うす。 ・学習を振り返る。 	知技(1)オ 知技(2)ア 知技(3)エ 思判表 B(1)ア 思判表 B(1)イ 思判表 B(1)ウ 思判表 B(1)エ 思判表 B(1)オ 思判表 B(2)ア		
	漢字の ひろば ② なかまの 言葉と 漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し，学習の見通しをもつ。 ・「家族を表す言葉」について考える。 ・「時を表す言葉」について話し合う。 ・意味をもとに漢字を仲間に分けることについて理解し，それぞれの漢字を関連づけて覚える。 ・意味のつながりのある言葉や漢字を身のまわりから探して，ノートに書き，発表し合う。 ・反対の意味の漢字を確かめ，あてはめる。 ・学習したことを振り返る。 	知技(1)エ 知技(1)オ		
	うれしく なる 言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を振り返り，うれしかった言葉を想起して「うれしくなる言葉」について学ぶことへの見通しをもつ。 ・心に残っている「うれしかった言葉」を思い出して，①どんな時に言われたか，②誰から言われたか，③どんな言葉をかけられたか，④どう思ったかを思い出して，カードに書く。 ・家族に言われてうれしかった言葉を思い出し，いろいろなエピソードを見つけ，言葉と経験を結びつける。 ・挿絵の友達の作品を見て，友達にかけるとよい言葉を考える。 ・言葉を考えながら友達にかけるとい言葉はどのようなものがうれしいのか，相手の立場に立ったものと考えられるとよいことに気づく。 ・友達の素敵なところを思い浮かべて，うれしくなる言葉を書く。 ・言葉によって相手や自分がどのような影響を受けるのかを考え，学習をまとめる。 	知技(1)ア 知技(1)オ 思判表 A(1)ア 思判表 A(1)ウ 思判表 A(2)イ		

7 月 (18)	四 く と り か え よ し う に 人 物 気 の を 様 つ 子 け て 、 読 も う	きつねの おきゃくさま	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつ。 ・確かめよう 1. 「たしかめよう」の①②③の順序で、お話が繰り返されていることを確かめる。 ・考えよう 2. 以下のそれぞれの時のきつねの思いを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> (1) ひよこ、あひる、うさぎに「〇〇お兄ちゃん。」と言われた時。 (2) 「いや、まだいるぞ。きつねがいるぞ。」と言って、飛び出した時。 (3) 恥ずかしそうに笑って死んだ時。 ・深めよう 3. きつねの性格を考えて、訳とともに文章に書き、それをもとに考える。 ・広げよう 4. この話の好きな場面を書く。 ・学習を振り返る。 	知技(1)ア 知技(1)カ 知技(1)ク 思判表 B (1)ア 思判表 B (1)オ 思判表 C (1)イ 思判表 C (1)エ 思判表 C (1)オ 思判表 C (1)カ 思判表 B (2)ウ 思判表 C (2)イ	「読むこと」(2年)に関する問題 2.「夕食づくり」(物語文)	
		いなばの しろうさぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつ。 ・絵を見て、どんなお話なのか、ストーリーを予想する。 ・絵を見ながら、教師の音読を聞いて、場面の絵をもとにお話 を確かめる。 ・昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読む。 ・学習を振り返る。 	知技(3) 思判表 C (2)イ		
		「かんさつ発見カード」を書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつ。 ・決めよう・集めよう 1. 生活科の学習で継続して観察している動植物などから書く対象を決める。 2. 新しく観察して気づいたことをメモに書き出す。 ・組み立てよう・くらべよう 3. メモを組み立て表の上に並べてみる。 4. 3のメモとこれまでに書いた観察記録を比べ、同じところと違うところに目を向ける。 ・書こう・読み返そう 5. 比べて気づいた点を「発見」として「かんさつ発見カード」を書く。 ・学習を振り返る 	知技(1)カ 知技(2)ア 思判表 B (1) 思判表 B (2)ア	「書くこと」(2年)に関する問題 1.かんさつしたことを文章に書いてみよう	
		「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が仲間ごとにまとめられるということを知り、学習活動に対する見通しをもつ。 ・「言葉のなかまさがしゲーム」を行うための準備をする。 ・前時に集めた言葉を用いて「言葉のなかまさがしゲーム」の問題づくりを行う。 ・別のグループの友達と一緒に「言葉の仲間さがしゲーム」を行う。 ・学習したことを振り返る。 	知技(1)オ 知技(2)ア		
9 月 (24)		話したいな、聞きたいな、夏休みのこと	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みのできごとを順序を考えて話すという学習の見通しをもつ。 ・話す順番を考えてメモを書く。 ・話す練習をする。 	知技(1)ア 知技(1)イ 思判表 A (1)ア 思判表 A (1)イ 思判表 A (1)ウ 思判表 A (1)エ 思判表 A (2)ア	「話すこと・聞くこと」(2年)に関する問題 1.好きなことやとくいなことをつたえよう	

	漢字のひろば ③ 二つの漢字でできている言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・「小石」「大木」「白線」という言葉の意味を考える。 ・「子牛」の例をもとに「親鳥」「海水」「人名」という言葉の読み方と意味を考え、二つの漢字のつながり方を理解する。 ・「青空・夜空・夏空」, 「朝市・朝日・朝会」などの言葉の意味について考える。 ・「毛糸」を例に、二つの漢字をつないで言葉を作る。 ・「同じ点数」は、「同点」という二つの漢字でできた言葉になることを理解する。 ・二つの漢字を組み合わせて、いろいろな言葉を作る。 	知技(1)エ 知技(1)オ			
	漢字のひろば ③ 一年生で学んだ漢字 ②	<ul style="list-style-type: none"> ・○の中の言葉の読み方を確認する。 ・教科書の絵と言葉を参考に、広場の様子から想像できる短文を作る。 ・主語と述語のつながりに気をつけて、絵の中の言葉を使って2文以上が続くように書く。 	知技(1)エ 知技(1)カ 思判表B(1)イ 思判表B(1)ウ 思判表B(2)ア			
五 し 登 場 人 物 や 言 っ た こ と を 読 も う	わにのおじいさんのたからもの	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通しをもつ。 ・どんなお話か確認する。 ・登場人物の気持ちを想像する。 ・おにの子は、どのような人物か考える。 ・お話のおもしろいと思ったところや、素敵だなど思ったところをノートに書く。 ・考えたことをもとに、おにの子か、わにのおじいさんに手紙を書く。 ・学習を振り返る。 	知技(1)ア 思判表B(1)イ 思判表B(1)ウ 思判表C(1)イ 思判表C(1)エ 思判表C(1)オ 思判表C(1) 思判表B(2)ウ 思判表C(2)イ	「読むこと」(2年)に関する問題 4.「やまのむこうには・・・」(物語文)		
	はんたいのいみの言葉, にたいみの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、反対の意味をもつものや、似た意味をもつものがあることを知り、学習活動に対する見通しを持つ。 ・「はんたいのいみの言葉」にはどのようなものがあるかを考え、組みになるカードを作る。 ・「にたいみの言葉」にはどのようなものがあるのかについて考える。 ・「にたいみの言葉」を分類したり、整理したりして、気づいたことをノートに書く。 	知技(1)オ 知技(2)ア			
10 月 (25)	六 ま と ま り を 考 え て	町の「すてき」をつたえます	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のすすめ方」を読み、学習の見通しをもつ。 ・探検してわかったことを、メモに書く。 ・「はじめ・中・おわり」に何を書くか考える。 ・文章を書き、読み返す。 ・書いた文章を読み合い、よいところを伝え合う。 ・学習を振り返る。 	知技(1)ウ 思判表B(1)ア 思判表B(1)イ 思判表B(1)ウ 思判表B(1)エ 思判表B(1)オ 思判表B(2)ア	「書くこと」(2年)に関する問題 2.おかしな作り方をせつ明しよう 7.よいところをみつけよう	
	七 く ら し や べ て し ん 考 え よ う	この間に何があった？	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつ。 ・1枚めの写真と2枚めの写真を比較して、間に何があったのかを想像し、書く。 	知技(1)ア 知技(1)オ 知技(2)ア 思判表B(1)イ 思判表C(1)ア 思判表C(1)オ 思判表B(2)ウ 思判表C(2)ウ		

	一 じゅ 気ん をつ つけて や様 子 うに	さげが大きくなるまで	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に見通しをもつ。 ・さげについて知っていることや、写真を見て考えたことを短い文で書く。 ・さげが大きくなる様子を、時・場所・大きさや様子を表す言葉に気をつけ、まとめる。 ・写真を使って、さげが大きくなる様子を説明する。 ・さげが大きくなる様子について、わかったことや考えたことをノートに書く。 ・学習を振り返る。 	知技(1)ア 知技(1)カ 知技(2)ア 思判表A(1)イ 思判表C(1)ア 思判表C(1)ウ 思判表C(1)オ 思判表C(1)カ 思判表A(2)ア 思判表C(2)ア		
	わ二 しく 様 子 を よ く 見 て 、 く	おもしろいもの、見つけたよ	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」を読んで、学習の見通しをもつ。 ・見つけたものから、書くことを決める。 ・見つけたものの様子をメモに書き、まとまりごとに並べる。 ・文章を書く。 ・書いた文章を、声に出して読み返す。 ・友達と文章を読み合う。 ・学習を振り返る。 	知技(1)オ 知技(2)ア 思判表B(1)ア 思判表B(1)イ 思判表B(1)ウ 思判表B(1)エ 思判表B(1)オ 思判表B(2)ア	「書くこと」(2年)に関する問題 6. よいところをさがそう	
11 月 (25)		しを読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・『てんとうむし』を音読し、気がついたことを発表し合う。 ・『木』の音読をとおして、どのような木か、大きさや形などを想像し合う。 ・二つの詩のうち、気に入ったほうの詩を音読し合う。 	知技(1)オ 思判表C(1)エ 思判表C(1)カ 思判表C(2)イ		
	三 だ れ が て、 ど の よ う に か わ つ た か を	ないた赤おに	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に見通しをもつ。 ・主な登場人物とできごとを確かめる。 ・赤おにが変わったところがあるか、人間たちや青おにとの関係から考える。 ・おにと青おには、それぞれどのような鬼か考える。 ・このお話を読んで、心に残ったところとその訳を紹介し合う。 ・学習を振り返る。 	知技(1)カ 知技(1)ク 思判表C(1)イ 思判表C(1)エ 思判表C(1)オ 思判表C(1)カ 思判表C(2)イ		
		「お話しじゅつかん」を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介するという学習内容をつかみ、学習の見通しをもつ。 ・読みたい本を探して読み、心に残ったことやその訳をメモする。 ・「お話しじゅつかん」の作品を作る。 ・「お話しじゅつかん」の作品の前で、本を紹介し合う。 ・学習を振り返る 	知技(1)ア 知技(3)エ 思判表C(1)イ 思判表C(1)エ 思判表C(1)オ 思判表C(1)カ 思判表C(2)ウ		
	四 答 え た り し て、 話 し 合 お う	「クラスお楽しみ会」をひらこう	<ul style="list-style-type: none"> ・単元名や教材名を読んで「クラスお楽しみ会」を開くことを知り、クラス遊びの内容を決める話し合いについての流れを捉える。 ・やりたい遊びを考える。 ・考えた遊びとその理由をカードに書く。 ・話し合いを行い、クラスの友達に伝える。 ・感想を伝え合う。 ・手順にそって話し合いが進められたか、また、話し合いの時にわかりやすく理由を話したり、わからないことを確かめたり、質問したりできたかなど、学習を振り返る。 	知技(1)ア 知技(2)ア 思判表A(1)ア 思判表A(1)イ 思判表A(1)ウ 思判表A(1)エ 思判表A(1)オ 思判表A(2)イ	「話すこと・聞くこと」(2年)に関する問題 4. みんなで話し合ってみよう	

		みじかい言葉で	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読み、学習活動を理解して見通しをもつ。 教科書の詩を読み、作者は何を感じて心が動いたのか、それをどのように書いたのかを考える。 心が動いたことを短い言葉で書く。 クラスの友達と読み合い、感想を伝え合う。 学習を振り返る。 	知技(1)ア 知技(1)オ 思判表B(1)ウ 思判表B(2)ウ		
12月(19)		漢字の広場 ④ 漢字のつかい方と読み方	<ul style="list-style-type: none"> 「生」という漢字のいろいろな使い方を考える。 教科書の設問をもとに「生」の読み方について、考える。 「後」「行」「通」の読み方と、それぞれの意味の違いを考える。 送り仮名によって読み方が変わる漢字をもとに、「おくりがな」の役割を考える。 教科書の設問をもとに、読み方によって送り仮名が変わることを理解する。 複数の読み方がある漢字を集めて、短文を作る。 	知技(1)エ		
		漢字の広場 ④ 一年生で学んだ漢字 ③	<ul style="list-style-type: none"> 絵の中の言葉の読み方を確認する。 教科書の絵と言葉を参考に、絵に描かれている様子から想像できる短文を作り、語と語の続き方に注意して文を書く。 主語と述語のつながりに気をつけて、絵の中の言葉を使って2文以上が続くように書く。 	知技(1)エ 知技(1)カ 思判表B(1)イ 思判表B(1)ウ 思判表B(2)ウ		
	五 わ く せ か ふ つ り う め や を い す た す く し る か た め よ う、	「しかけ絵本」を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。 「しかけ絵本」の作り方を写真から確かめる。 「しかけ絵本」ができるまでにすることと気をつけることを表にまとめる。 「用意するざいりょう」を読んで、書いてある内容を読み取り、実際に用意して確かめる。 順序に気をつけて、写真や文章を照応しながら「しかけ絵本」を作る。 本文は、「しかけ絵本」の作り方をわかりやすく伝えるために、どのような工夫がされているか、考える。 「しかけ絵本」のお話を考え、紹介する。 学習を振り返る。 	知技(1)ア 思判表B(1)イ 思判表B(1)ウ 思判表C(1)ア 思判表C(1)ウ 思判表C(1)オ 思判表C(1)カ 思判表B(2)ア 思判表C(2)ア	「読むこと」(2年)に関する問題 3.「おいしいおかしのみみつ」(説明文)	
		おもちゃのせつめい書を書こう	<ul style="list-style-type: none"> 「学習の進め方」を読み、学習の見通しをもつ。 おもちゃの作り方や遊び方を思い出し、メモに書く。 説明書の組み立てを考える。 説明書を書き、読み返す。 友達と読み合う。 学習を振り返る。 	知技(1)ア 知技(2)ア 思判表B(1)ア 思判表B(1)イ 思判表B(1)ウ 思判表B(1)エ 思判表B(1) 思判表B(2)ア		
1月(20)		しを読もう 「せかいじゅうの海が」	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し音読し、初発の感想を書く。 1～4連それぞれで、その大きさをイメージする。 5連の大きさをイメージする。 工夫して音読する。 「どんなに大きな……だろな。」から想像し、絵に描いたり思ったことを書いたりする。 できあがったものを紹介し、感想を発表し合う。 	知技(1)オ 知技(1)ク 思判表C(1)イ 思判表C(1)エ 思判表C(1)オ 思判表C(1)カ 思判表C(2)イ		

		音や様子をあらわす言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、音や様子を表すことができるものがあることを理解し、学習活動に対する見通しをもつ。 ・「音をあらわす言葉」のはたらきや表記の仕方について理解する。 ・「様子をあらわす言葉」のはたらきや表記の仕方について理解する。 ・濁音の有無によって、「音や様子をあらわす言葉」から受ける感じが異なることを理解する。 ・単純形と反復形によって、「音や様子をあらわす言葉」から受ける感じが異なることを理解する。 ・音や様子を表す言葉を使って文を書く。 ・学習したことを振り返る。 	知技(1)ウ 知技(1)オ		
		漢字の広場 ⑥ 組み合わせでできている漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 ・「明」という漢字の分け方を考える。 ・漢字の中には、左右・上下・内外などに分けられるものがあることを確かめ、漢字の組み立て方には一定のきまりがあることを理解する。 ・「心・田」などの漢字を組み合わせでできる漢字を考え、話し合う。 ・「心・田」などと同じような問題を作り、解答し合う。 ・熟語を手がかりに、「言」の部分をもつ漢字を探し、発表する。 ・「日」「土」「田」など、同じ部分（構成要素）をもつ漢字を集めて問題を作り、発表する。 	知技(1)エ 知技(2)ア	「漢字」に関する問題 (2年) 4. くみ合わせてできるかん字①	
		漢字の広場 ⑥ 一年生で学んだ漢字 ④	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の中の言葉の読み方を確認する。 ・教科書の絵と言葉を参考に、絵に描かれている様子から想像できる短文を作り、語と語の続き方に注意して文を書く。 ・男の子と女の子の目に映ったものを、主語と述語のつながりに気をつけて、2文以上が続くように書き、発表し合う。 ・学習したことを振り返る。 	知技(1)エ 知技(1)カ 思判表B(1)ウ 思判表B(1)エ 思判表B(2)ウ		
3月(13)	八 場面 気の様子 つけてや て登場 人物の 行動に	アレクサンダとぜんまいねずみ	<ul style="list-style-type: none"> ・単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。全文を読み、初発の感想を交流したり、語句の確認をしたりする。 ・あらすじをまとめて身近な人に紹介するために、お話を詳しく読む。 ・場面ごとの登場人物の気持ちを詳しく読む。 ・アレクサンダが考えを変えたことについて、自分の考えを発表し合う。 ・このお話を誰に紹介するのかを決め、あらすじと自分が興味・関心をもったところをまとめて書き、それをもとに紹介する。 	知技(1)ア 思判表B(1)イ 思判表C(1)イ 思判表C(1)エ 思判表C(1)オ 思判表C(1)カ 思判表B(2)ア 思判表C(2)イ	「読むこと」(2年)に関する問題 5. 本を読んで手紙を書こう	
		国語の学習 これまで これから	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の国語の学習で学んできたことや言葉を思い出して書いたり、出し合ったりする。 ・1. で出し合ったことをもとにして、三年生の国語で学びたいことを出し合う。 	思判表A(1)ア 思判表A(1)エ 思判表B(1)ア 思判表B(1)オ 思判表A(2)ア 思判表B(2)ア		

三年生で学習した漢字

知技(1)エ

「漢字」に関する問題 (2年)
1. かん字と画数1
2. かん字と画数2
3. かん字を書く
6. かん字の画数・かん字二字のことば (じゅくご)
7. かん字二字のことば (にたいみのかん字)
8. かん字バラバラじけん1
9. かん字バラバラじけん2
12. かん字のことば (じゅくご) パズル1
13. かん字のことば (じゅくご) パズル2
14. いろいろなよみかたのあるかん字1
15. いろいろなよみかたのあるかん字2
16. いろいろなよみかたのあるかん字3
17. かん字二字のじゅく語をつくろう1
18. かん字二字のじゅく語をつくろう2
19. かん字二字のじゅく語をつくろうもんだいシート1
20. かん字二字のじゅく語をつくろうもんだいシート2
21. おなじなかまのかん字
22. おなじかん字をつかったことば1
23. おなじかん字をつかったことば2
24. 三字のじゅく語にちょうせんしよう1
25. 三字のじゅく語にちょうせんしよう2
26. 三字のじゅく語にちょうせんしよう3
27. おくりがな
28. 形がにているかん字
29. よみ方がおなじかん字1
30. よみ方がおなじかん字2
31. めざせかん字マスター (よみかた1)
32. めざせかん字マスター (よみかた2)
33. めざせかん字マスター (よみかた3)
34. めざせかん字マスター (かきとり1)
35. めざせかん字マスター (かきとり2)
36. めざせかん字マスター (かきとり3)
37. かん字で作文れいだい
38. かん字で作文れんしゅう
39. かん字で作文1
40. かん字で作文2
41. かん字で作文3
42. かん字で作文4

小学校第2学年「算数科」

時期 (時数)	単元名(教材名)	指導内容(学習内容)	学習指導要領の内容	対応する「ちばっ子チャレンジ100」	備考(留意点等)
4月 (12)	学びのとびら	・数学的活動を通じた算数科の学び方の確認	第1学年の内容		
	1. グラフとひょう	・簡単な一次元表, グラフの読み方, かき方	D(1)	小2 算数「ひょう・グラフ」	
	2. たし算のひっ算	・2位数と1～2位数の加法計算 ・加法の筆算形式 ・加法の交換法則と検算の方法 【発展】カードを用いた加法の筆算づくり	A(2) 内取(3)	小2 算数「たしざんとひきざん」 小2 算数「たし算とひき算のひっ算(1)」	
5月 (14)	3. ひき算のひっ算	・2位数から1～2位数をひく減法計算 ・減法の筆算形式 ・減法と加法の関係 ・減法の検算の方法 【発展】カードを用いた減法の筆算づくり	A(2)	小2 算数「たしざんとひきざん」 小2 算数「たし算とひき算のひっ算(1)」	
	どんな計算になるのかな?	・2位数の加減についての演算決定	A(2)		
	おぼえているかな?	・既習内容の理解の確認	—		
	4. 長さのたんい	・長さをはかる単位の必要性, 有用性 ・物差しを目盛りの読み方, 使い方 ・長さの単位「センチメートル, ミリメートル」 ・1cm=10mmの単位関係 ・直線概念 ・長さについての加減計算	C(1)	小2 算数「長さ」	
	5. 3けたの数	・1000までの数の読み方, 書き方 ・3位数の位取りの原理, 数の構成 ・1000までの数の相対的な大きさ ・1000までの数の系列, 順序, 大小, 多面的な見方 ・10や100を単位とする数構成に着目した加減計算 ・数構成に基づく加減計算(500+300, 530-30など) ・大小, 相等を表す記号の使い方 【発展】数の構成に基づく数の大小判定方法の説明	A(1)(2)	小2 算数「1000までの数」 小2 算数「1000までの数」	
6月 (16)	6. 水のかさのたんい	・体積をはかる普遍単位の必要性, 有用性 ・体積の単位「デシリットル, リットル, ミリリットル」 ・1L=10dL, 1L=1000mLの単位関係 ・体積についての加減計算	C(1)	小2 算数「かさ」	
	☆おぼえているかな?	・既習内容の理解の確認	—		
	7. 時こくと時間	・時刻と時間の概念, 区別 ・1時間=60分, 1日=24時間の単位関係 ・午前, 午後の意味 【発展】時刻と時間の意味の正確な使い分け	C(2)	小2 算数「時こくと時間」	
7月 (8)	☆おぼえているかな?	・既習内容の理解の確認	—		
	8. 計算のくふう	・加法の結合法則, ()の使い方 ・簡単な加減の暗算のしかた	A(2) 内取(2)(3)	小2 算数「計算のじゅんじょ」	
	9. たし算とひき算のひっ算	・和が3位数になる, 2位数と1～2位数の加法計算 繰り上がり1回及び, 2回の場合			
9月 (17)					

		<ul style="list-style-type: none"> 波及的に繰り上がる場合 ・差が2位数になる, 3位数から1~2位数をひく減法計算 繰り下がり1回及び, 2回の場合 波及的に繰り下がる場合 ・百の位への繰上がりがない, 3位数と1~2位数の加法計算 ・百の位からの繰り下がりがない, 3位数から1~2位数をひく減法計算 	A(2) 内取(3)	小2 算数「たし算とひき算のひっ算(2)」	
10月(19)	10. 長方形と正方形	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形, 四角形の意味と用語 ・辺, 頂点の意味 ・直角の概念 ・長方形, 正方形の概念, 性質, かき方(方眼紙を利用) ・直角三角形の概念, 性質, かき方(方眼紙を利用) 	B(1) 内取(5)	小2 算数「三角形と四角形」	
11月(19)	11. かけ算(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法の意味 ・「×」「かけ算」などの用語, 記号 ・倍概念の基礎 ・5の段, 2の段の九九の構成 ・3の段, 4の段の九九の構成 ・「かけられる数」「かける数」の用語と意味 ・乗数と積の大きさの関係の初歩的な考察 	A(1)(3) 内取(4)	小2 算数「かけ算(1)」	
	★九九ビンゴ	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通しての九九の習熟 	A(3)		
12月(10)	12. かけ算(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・6の段, 7の段の九九の構成 ・8の段, 9の段, 1の段の九九の構成 ・倍概念の基礎 ・かけ算九九の表の考察 乗数と積の大きさの関係 乗法の交換法則 簡単な2位数×1位数の乗法計算 ・かけ算九九を総合的に適用して解決する問題 	A(1)(3) 内取(4)	小2 算数「かけ算(2)」 小2 算数「九九のきまり」	
	☆おぼえているかな?	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容の理解の確認 	-		
1月(13)	13. 4けたの数	<ul style="list-style-type: none"> ・10000までの数の読み方, 書き方 ・4位数の位取りの原理, 数の構成 ・10000までの数の相対的な大きさ ・10000までの数の系列, 順序, 大小, 多面的な見方 	A(1)(2) 内取(1)	小2 算数「10000までの数」 小2 算数「10000までの数」	
2月(17)	14. 長いものの長さのたんい	<ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位「メートル」 ・1m=100cmの単位関係 ・長さを単位を変えて表すこと 	C(1)	小2 算数「100cmをこえる長さ」	
	15. たし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> ・減法逆の加法, 加法逆の減法等の問題解決 ・加法と減法の相互関係 【発展】減法逆の減法の問題解決 	A(2) 内取(2)		
	16. 分数	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を用いて1/2や1/4などの大きさを作ること ・1/2や1/4などの数を分数と呼ぶこと 【発展】倍と分数を用いた数量の関係の考察 	A(1)	小2 算数「分数」	

	☆おぼえているかな？	・既習内容の理解の確認	-		
3 月 (8)	17. はこの形	・箱の形を基にした立体と平面の関係 ・立体図形（立方体，直方体）の構成要素としての頂点，辺，面の特徴 【発展】展開図による立方体の向かい合う面の考察	B(1)	小2 算数「はこの形」	
	★計算ピラミッド	・1～2位数の加減計算の習熟 ・伴って変わる2つの数量の関係に関する初歩的な考察	A(2)		
	★2年のふくしゅう	・2学年の学習内容の総復習，働かせてきた数学的な見方・考え方の振り返り	A～D		